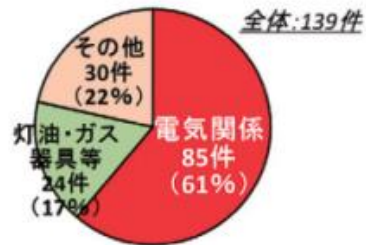




感震ブレーカーを設置しましょう

《阪神・淡路大震災》



総出火件数139件のうち、電気関係は85件(約6割)

(消防庁統計会報告書(1998))

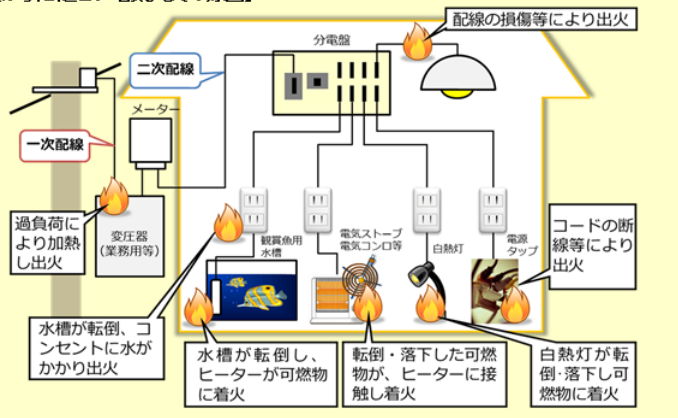
阪神・淡路大震災や東日本大震災では多くの火災が発生し、被害にあった方が多くいました。

「グラッときたら火の始末」

と昔は言われてきましたが、現在のガスは地震を感知するとメータで供給が止まるようになっていました。右の表を見てわかるように火災の原因の多くは電気関係によるものなのです。

電気と地震火災

【地震が引き起こす電気火災の原因】



大地震が起こった際に電気、ガス、水道などのライフラインは遮断されます。その後それぞれのライフラインが復旧していきます。阪神・淡路大震災や東日本大震災では地震時に遮断された電気が復旧し多くの火災を引き起こしました。

左の図を見ていただくと様々な所から発火の可能性があるのでわかります。ブレーカーを切ってから避難所に向かえば良いのですが、震災時パニックになっていたり、倒壊して建物に入れない場合もあります。

感震ブレーカー

感震ブレーカーは地震を感知してブレーカーを切ってくれる（電気を遮断してくれる）装置です。下記のようなものがあり一番左から分電盤内蔵型（新築時）、分電盤に後付するタイプ、コンセントごと遮断できるタイプ、簡易タイプ等があります。

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5～8万円（標準的なもの）	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

(注) 住宅分電盤の種類に適した製品をお選びください。

簡易タイプは比較的安価でホームセンターなどでも販売されています。コンセントタイプは簡易タイプと電気工事が必要なタイプがあり、分電盤タイプは電気工事が必要です。

静岡市では平成29年12月28日まで分電盤タイプの感震ブレーカーに限り補助を行っています。（予算に達したら終了）

詳しくは静岡市役所危機管理室（221-1012）か下記フリーダイヤルにお問合せください。

やませいリフォーム

株式会社 山清片山 工事・リフォーム部

静岡市葵区竜南3丁目16-18 TEL: 054-246-3112

地元静岡で125年。地域の皆様に愛される企業を目指します！

フリーダイヤル 0800-111-8030